

岩国市博物館基本計画
概要版

令和4年3月
岩国市

第1章 計画の策定

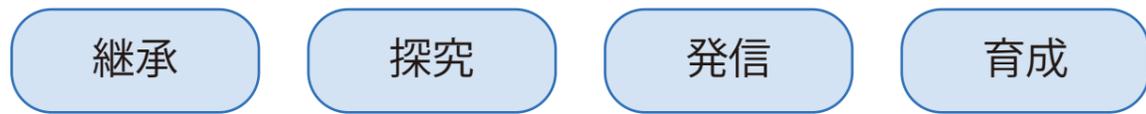
■新博物館の基本理念

「ここに来れば岩国市の歴史がすべてわかる」

■新博物館の使命

(仮称)岩国市立博物館(以下、「新博物館」)は、かけがえのない地域の財産である資料を収集保存するとともに、調査研究によって読み解き、市民及び利用者の学びや交流に活用することによって、歴史や文化を継承し、その魅力を発信していく施設です。

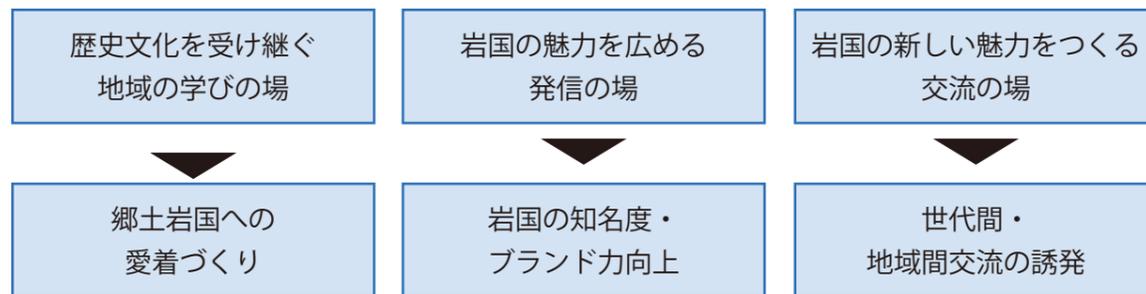
新博物館では、以下の使命を掲げ、博物館機能の充実と活動の活性化を図ることで、「ここに来れば岩国市の歴史がすべてわかる」地域の生涯学習施設としての役割を果たしていきます。



■新博物館の目指す役割と望まれる効果

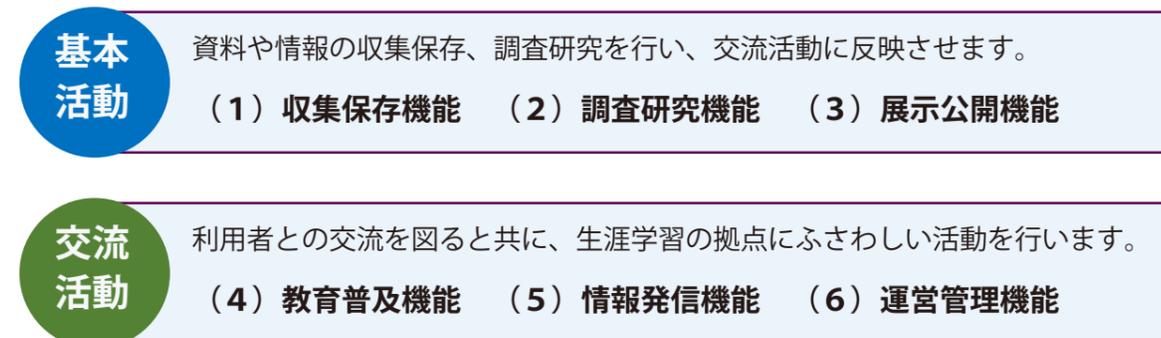
新博物館は、博物館活動を通して、市民及び利用者一人一人が岩国が持つ価値や魅力を自ら発見し、創造していく、学び・発信・交流の場となることで、郷土への誇りと活気に満ちた地域社会づくりに貢献していきます

【地域における役割と望まれる効果】



第2章 全体計画

■博物館の機能



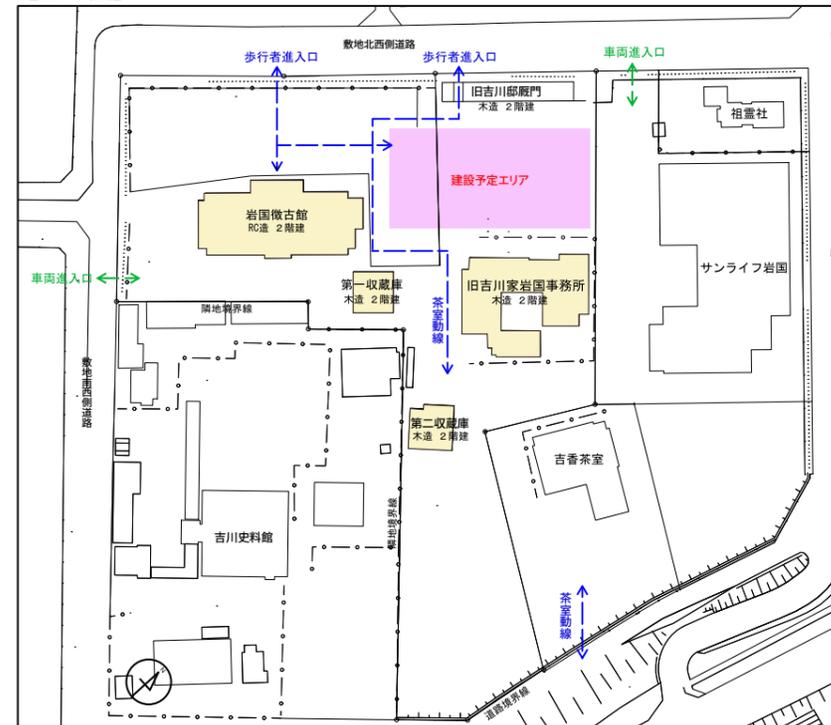
第3章 施設計画

■新博物館の想定規模

新博物館は、岩国徴古館を含む形で一体的に展開していく方向性を想定しています。

新館の建設予定エリアは、資料の管理体制や施設運営を岩国徴古館と一体的に行うと考えた場合、岩国徴古館の北東側が適切と判断しました。

【立地図】



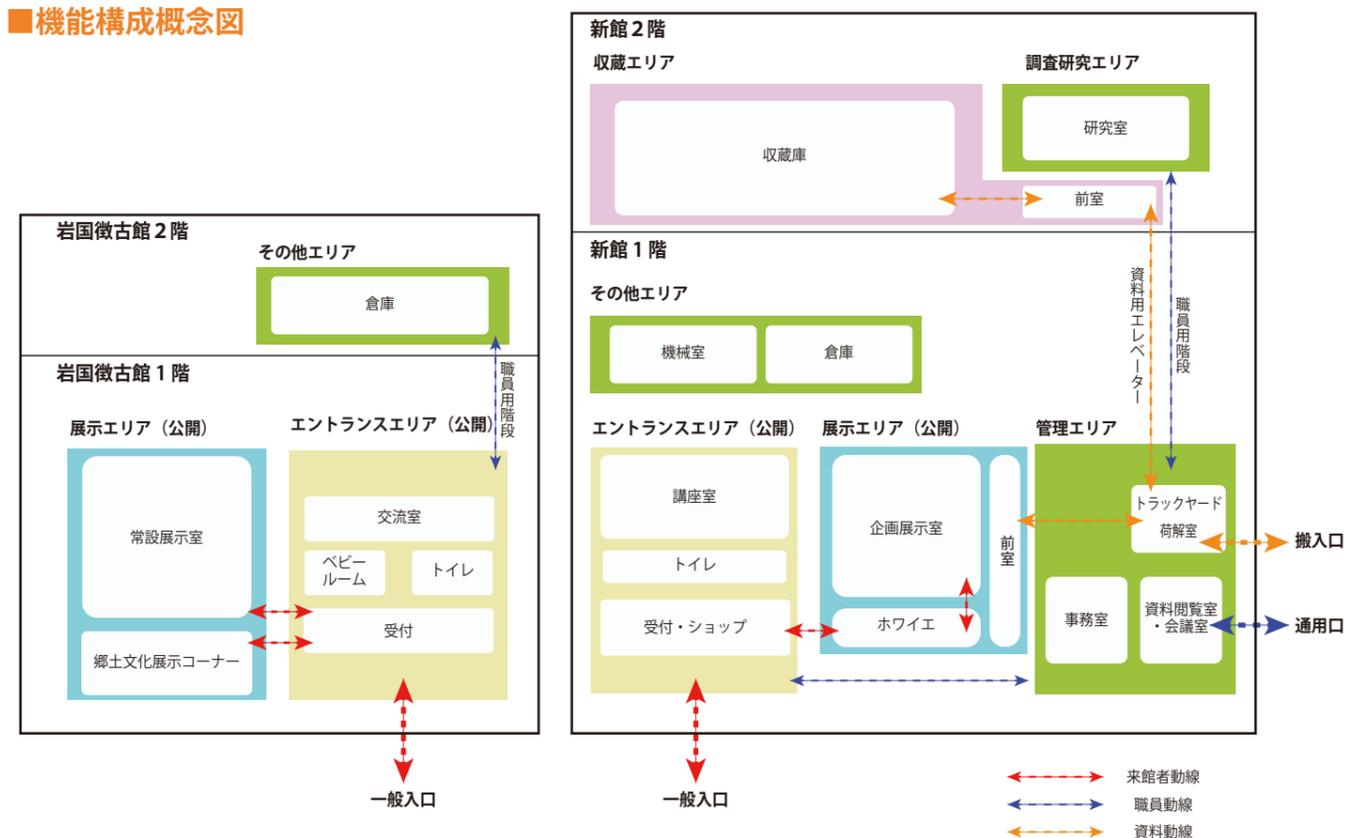
【新博物館の構成要素】

新館・岩国徴古館
旧吉川家岩国事務所・第一収蔵庫・第二収蔵庫

【新館施設規模】

新館の延床面積は最大1,800㎡程度を想定。
新館には公開承認施設水準(重要文化財の展示保管が可能な展示収蔵環境)の環境整備を行います。

■機能構成概念図

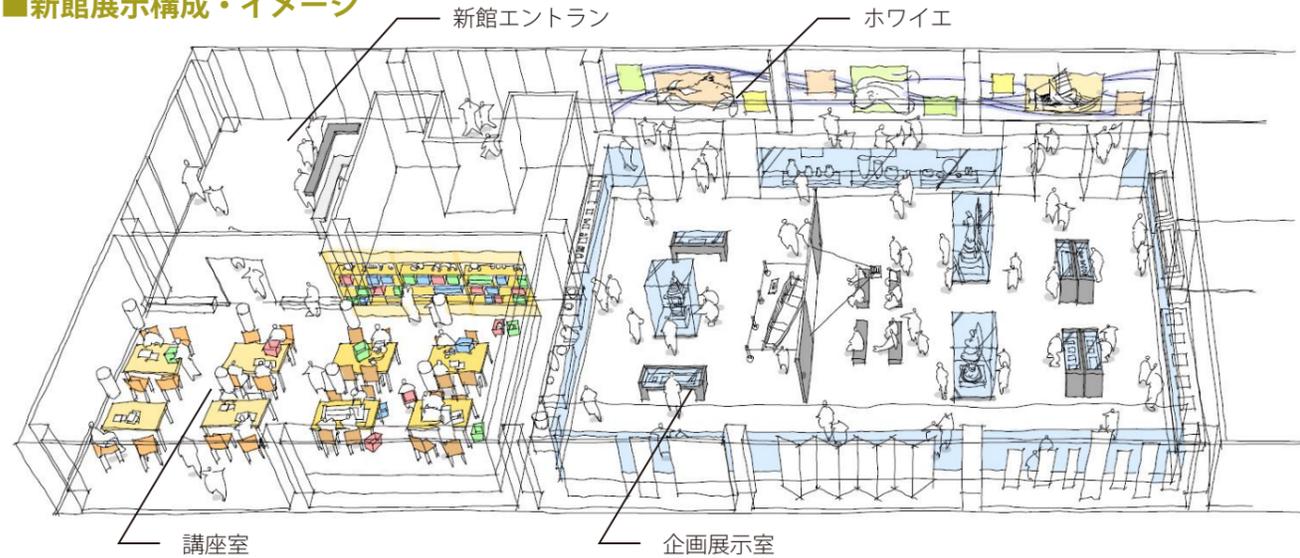


第4章 展示計画

■展示の基本的な考え方・コンセプト

新博物館は、“岩国を知り、未来につなぐ”を展示コンセプトに、各地域で積み重ねられてきた歴史から岩国市の今を知り、未来に繋げていくかけはしとして、子供から大人まで楽しく学びながら「もっと知りたい」「やってみたい」「伝えたい」という思いを育てる展示を行います。

■新館展示構成・イメージ



●企画展示室



館所蔵資料や他館からの借用資料をもとに企画展示を開催する企画展示室。高い水準の展示収蔵環境、かつ、レイアウトや展示設備の自由度を確保するため、新館への配置を想定。

●ホワイエ



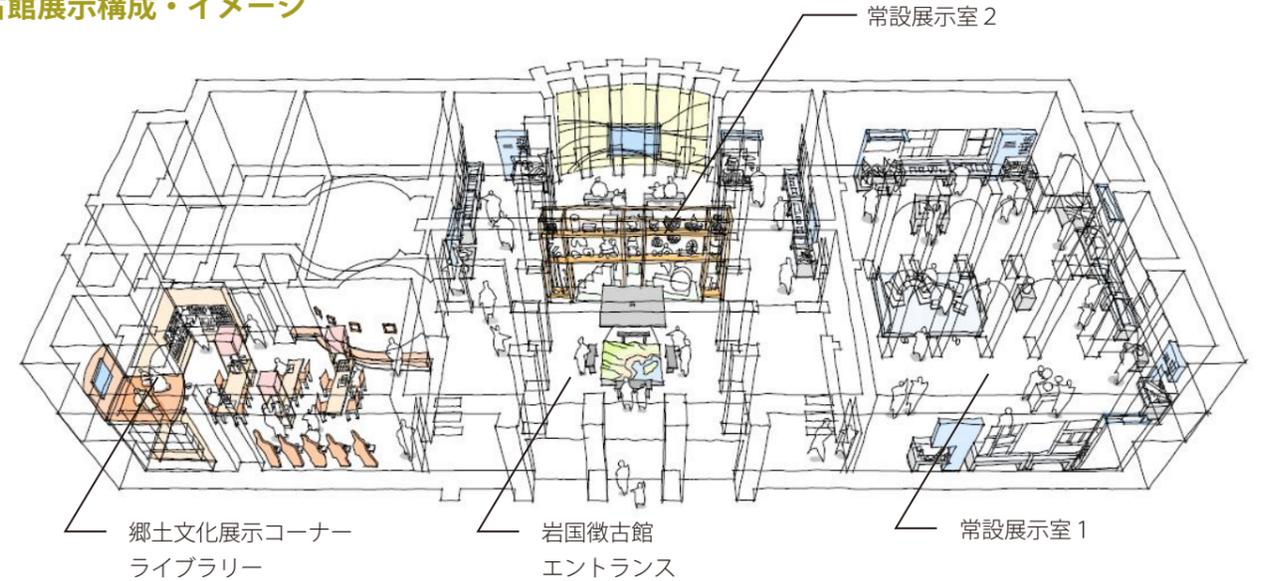
展示への期待を高める企画展示室の導入通路。

●講座室



講座、ワークショップを行うスペース。

■岩国徴古館展示構成・イメージ



●常設展示室 導入展示「岩国のうつりかわり」を起点に、通史展示で岩国の歴史文化を紹介する展示室。

・展示コーナーの流れ

岩国のうつりかわり

導入展示：岩国の地形特性や時代ごとの変遷を伝える。
※エントランスに配置

1 岩国のあけぼの

原始・古代：岩国の起源とくらしのはじまりを伝える。

2 広がる水陸交通

中世：水陸交通の要所としての発展と、大内氏・毛利氏の時代における岩国の様子を伝える。

3 長州藩と岩国領

近世：岩国城下町や山代など、長州藩と岩国領それぞれの当時のくらしを伝える。

4 岩国と明治維新

幕末：幕末期における岩国の動きや、岩国藩となるまでの過程を伝える。

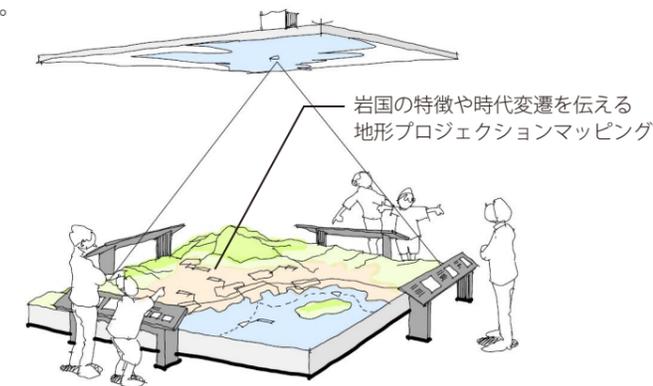
5 町の形成

近現代：現代の産業の特徴に繋がる時代背景と、現代の岩国市の姿を伝える。

海・川・山・里のくらし

民俗：岩国の各地域に残る特色溢れる文化や生業を、近代から現代までの民俗資料を通して紹介する。

【導入展示】（エントランス）



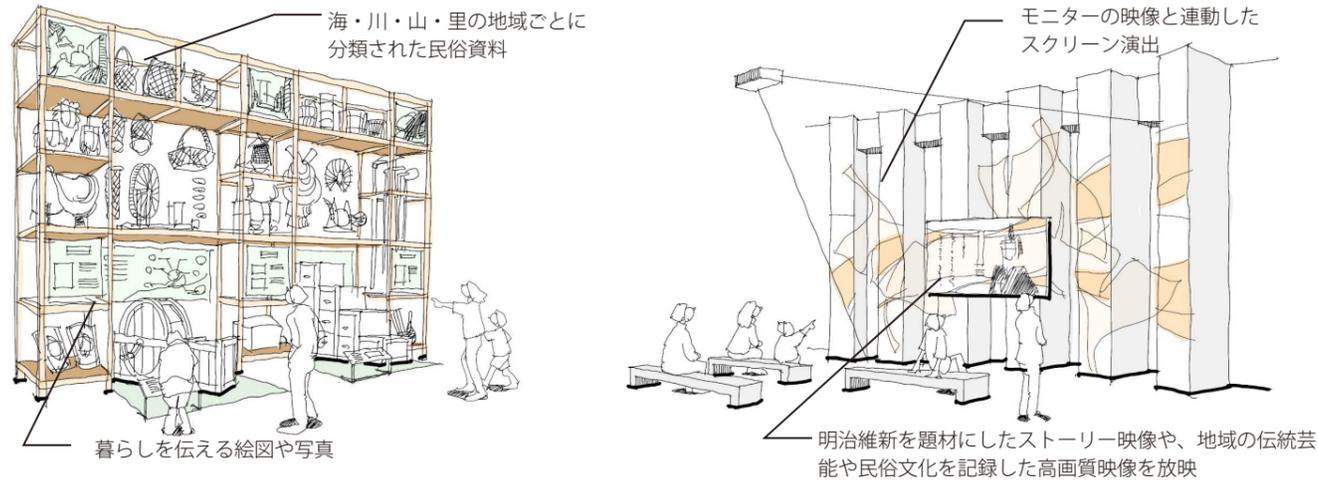
【近世】長州藩と岩国領



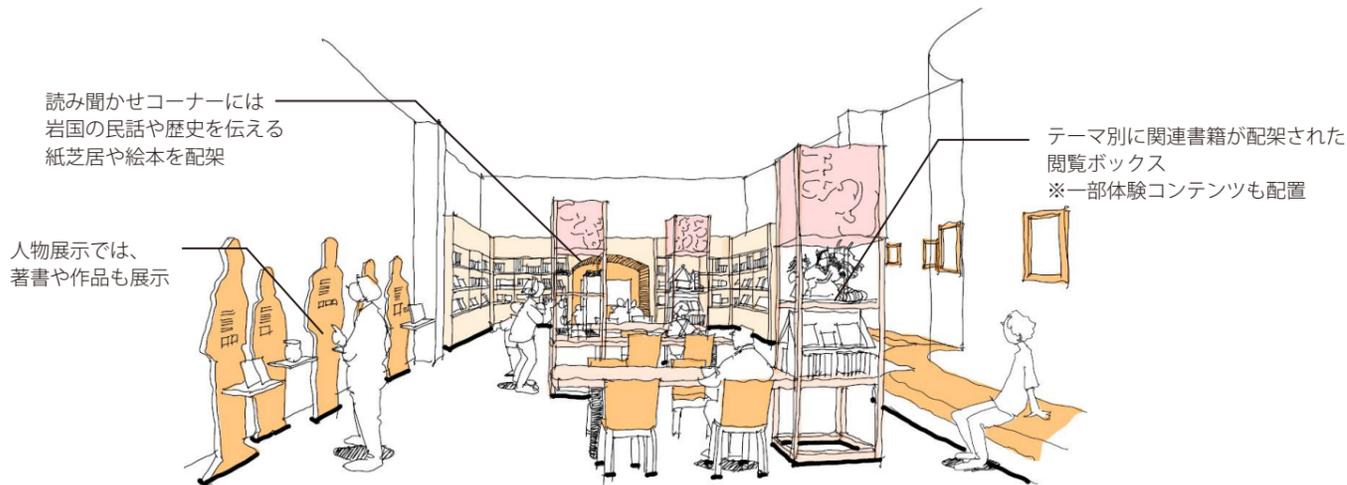
第4章 展示計画

【民俗】海・川・山・里の暮らし

【シアター】



●郷土文化展示コーナー ライブラリーを併設し、岩国ゆかりの人物展示や、地域の方言、まつりや習慣等を紹介する無形文化展示を行う展示コーナー。



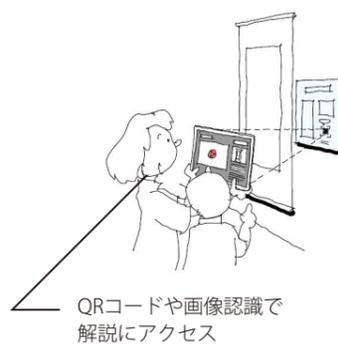
■展示手法・解説ガイドツール

実物展示だけでなく、ハンズオン、デジタル展示、ダイナミックな映像シアター等、わかりやすく楽しく学べる展示を検討。また、解説ツールとしてスマホ・タブレットを用いたガイドアプリを検討。音声ガイドや詳細解説にアクセスできるほか、館外のまち歩きや授業教材にも使えるよう検討します。

●五感で楽しむハンズオン展示

●資料への関心を深めるデジタル展示

●通信端末を用いたガイドアプリ



第5章 教育普及活動計画

■教育普及活動の基本的な考え方

- (1) 様々な利用者層や関心タイプに応じた多様なプログラム展開
- (2) 資料や展示等実物を通じた学びの切り口を広げるプログラム展開
- (3) 博物館での研究成果と、活動の意義を伝えるプログラム展開
- (4) 地域に根付くネットワークづくりと、地域へ届けるプログラム展開
- (5) 岩国の人と未来をつなぐプログラム展開

■ほか、記載項目

【教育普及活動のバリエーション】 【市内各地域との連携・発信活動】 【周辺施設との連携】

第6章 管理運営計画

■管理運営の基本的な考え方

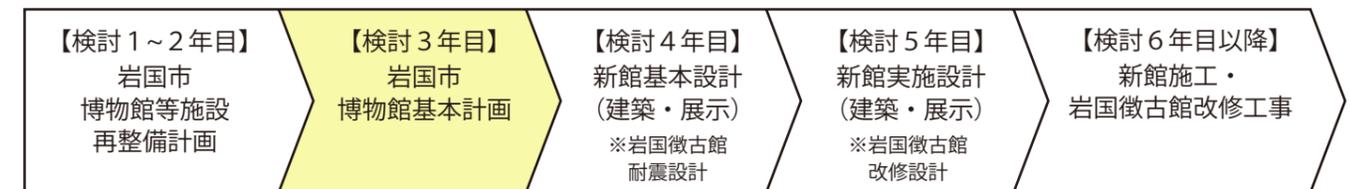
- (1) 開かれた博物館として、市民・利用者の立場に立った運営を行う
- (2) 多様な主体との連携により、効果的な博物館運営を進める
- (3) 効率的な運営のもとで博物館の使命・役割を持続的かつ着実に果たす
- (4) 博物館の質や魅力、市民・利用者の満足度を持続的に高める

■ほか、記載項目

【開館形態】 【利用者に向けたサービス展開と広報】 【運営方針と運営体制】

第7章 開館に向けて

■事業スケジュール



■概算事業費

事業費については、新館の新築工事だけではなく、岩国徴古館の耐震工事・改修工事も含めて試算を実施。総事業費は、新館建築の延床面積をおよそ1,800㎡程度とした場合、計画候補地にかかる立地条件や周辺環境の美装等も含めると、約22億円と想定しています。